

ちはら台東地域に民間ミニ交番の設置を！

ちはら台地区は市内の中では比較的犯罪が少ない安全な地域です。それでも昨年1年間(12月27日現在)で212件の刑法犯総件数が発生しています。その中で82件が自転車盗、23件がオートバイ盗、19件が車上狙いで、住居に侵入する空き巣や忍び込みは9件と比較的少ない状況です。

防犯対策は先手先手が重要で自治会連合会ではCATV回線を利用して防犯カメラシステムを全域に配備したり、青色パトロール車13台の認可(毎年増車)を得たり、県警本部より市内では初めての防犯情報センターの指定を頂くなど防犯活動に注力しています。

一番の防犯対策は地域住民の高い防犯意識でその向上策の基本は住民による防犯パトロールで各自治会でも活動しています。

ちはら台地域を警護していただいているちはら台駅前交番は地域から見ると西の端にあります。東地区の住民が急増している中で住民から不安の声が多く寄せられており、H17年度から「市長と町会長との懇談会」で地域の防犯活動の拠点となるような「民間ミニ交番」の設置の要請出し、すでにセブンイレブン側の駐車場内に設置の了解を得ていますが、市原市がなかなか承認してくれません。「ちはら台東交番」が無理ならせめて防犯協会の方や自治会防犯パトロールの方や巡回警察官の立ち寄りなど防犯活動拠点が必要と考えております。